



由良町

こんにちは! 議会です

NO.111

発行/由良町議会 発行責任者/議長 玉置一郎
編集/議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738 (65) 1100 FAX.0738 (65) 0226

暑中お見舞い 申し上げます

補正予算 P-2
議案質疑 P-3
一般質問 P-8
常任委員会 P-10

2016.8.1

平成28年 **6月 定例会** 6月9日～15日

結婚、妊娠、出産の支援、 防災関連事業など2億9700万円追加



由良町地域子育て支援センター「ゆらっ子」

**一般会計歳入歳出総額
37億1700万円に**

由良町における安定した 雇用を創出する

- (3) サテライトオフィス・スクール
- (2) 由良町ブランド製品の創出



- (1) **新規就農支援・起業支援**
- 水産多面的機能発揮対策事業
- プレミア付商品券発行事業

6月定例会は、平成28年6月9日から15日まで7日間の会期で開きました。

今回は、町長選挙後初めての議会です。当初予算は骨格予算での構成でしたが、今回の補正予算で本年度の新規事業が盛り込まれました。

今定例会では、専決処分についての報告6件、繰越明許費繰越計算書についての報告4件、契約

補正予算の主なものは、結婚、妊娠、出産の支援、観光振興、空き家対策、防災関連事業等です。

の締結についての議案2件、一般・特別会計補正予算4件が提案され、審議の結果、すべて原案通り可決、承認しました。

一般質問は、6名の議員が登壇しました。

補正予算

議案質疑

一般質問

常任委員会

由良町に新しいひとの流れを作る

- (1) 観光資源を使ったおもてなし向上
 - オーシャンビューサイクルフェスタ 2017
 - 鍾乳洞アクセス道路整備事業
 - 白崎海洋公園整備事業
- (2) 移住・定住促進及び空き家有効活用策定事業
 - 旅行商品開発販売促進事業
 - 観光振興事業
- (3) 人材の確保及び育成
 - 空き家等対策計画策定事業



サイクリングイベントの取り組みは

問

今年3月の第1回開催でメインのサイクリングイベントは強風のため中止となりました。このイベントのような新しい試みを進めることは必要ですが、「費用対効果」が重要です。

今年3月の第1回開催でメインのサイクリングイベントは強風のため中止となりました。

答

早急に協議会を開きます。そこでは3月の効果も検証し、大成功できるよう、方向性を十分協議、検討して、より良いイベントにしていきます。

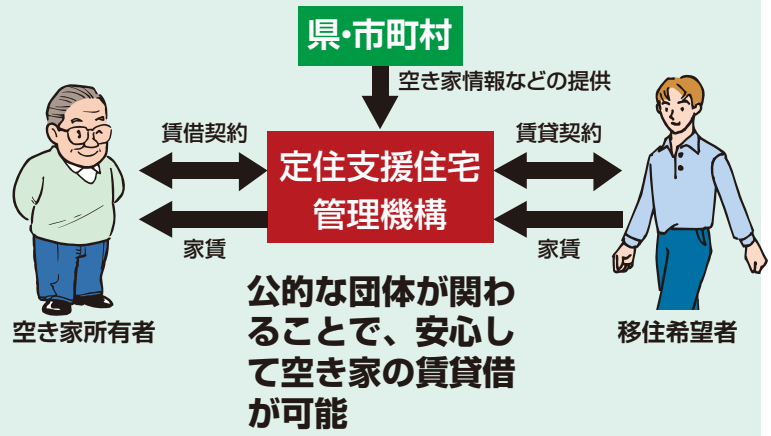
は。

参事・総務政策課長

この効果などを詳しく検証し、次回の開催に活かしていくべきです。今後の取り組みの予定です。

わかやま空き家バンクの設置・運営について

和歌山県では、和歌山県住宅供給公社内に定住支援住宅管理機構を設置し、市町村等からの情報に基づき空き家バンクを管理運営することで、地域の空き家を積極的に活用するとともに、移住希望者に情報提供を実施しています。



問

空き家対策の進め方は。

答

当町において空き家は増加しています。

長期開放置かれ、老朽化による倒壊、樹木雑草の繁茂などの問題が発生して、周辺の環境に悪影響を及ぼしています。

そのために、適正管理の推進、利活用の促進といった取り組みを計画的に進めていきます。

「わかやま空き家バンク」への登録をしてもらうように進めているところです。

由良町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 出会い・結婚の支援**
 - De「愛」のダイビングin白崎
 - 結婚サポーターの養成
 - あなたの新しいせんプロジェクト
- (2) 妊娠・出産の支援**
 - 妊産婦医療費助成事業
 - 子ども居場所づくり事業
 - 不妊治療費助成事業の拡大
- (3) 教育環境づくり**
 - 教育環境の整備

■ 特定不妊治療の個人負担を全額補助

問 特定不妊治療の助成とありますが、

どのような内容ですか。

答 特定不妊治療の補助は昨年度までも県・

国で行っておりましたが、個人負担がかからないよう、新たに町でも助成するものです。

治療費50万円を想定した場合、初回20万円、2

回目以降は25万円の個人負担分を全額助成します。ただし、所得による制限等があります。

問 町内では何人の利用者がいたのか、

利用する人が多ければ、どのように対応するのか。

答 住民福祉課長

昨年度の県の補助を受けられた町内の方は5名でした。

今年度予算では10件を想定していますが、利用する方が多ければ、増額補正を考えていきます。

妊娠・出産への支援拡充

当初予算 100万円
補正予算 371.5万円(新規)

- 妊産婦の医療費の個人負担を**全額助成**します。
- 不妊治療にかかる個人負担を**全額助成**します。

一般不妊治療

平成27年度まで 年間3万円までを助成 → 平成28年度 **全額**(上限:年間10万円まで)を助成

特定不妊治療 (医療費50万円を想定)

平成27年度まで	平成28年度	
自己負担 35万円	由良町負担 20万円	由良町負担 25万円
県 7.5万円	県 15万円	県 17.5万円
国 7.5万円	国 15万円	国 7.5万円
	初回	2回目以降



新婚さんに家賃補助

あなたの新居 すいせんプロジェクト

補正予算200万円(新規)

～新婚世帯へ家賃補助を行い、由良町への定住を図ります～

平成28年度からの新規事業



婚姻後、由良町内で
継続して在住

または

婚姻3年未満の世帯で
由良町外からの転入



賃貸住宅等の家賃の
一部を補助

月額最大
2.5万円

町内の賃貸住宅等(アパート・借家等)

期間 平成28年度～平成32年度まで5年間

対象 町内の賃貸住宅等に住民票を置き、次のいずれかの条件を満たす世帯。

- ①婚姻前から由良町に在住しており、平成28年7月1日以降に婚姻した世帯。
 - ②婚姻後3年未満で平成28年7月1日以降に由良町へ転入した世帯。
- ※ただし、親族が所有する住宅を除く。
※新婚夫婦のお2人ともが、申請日において満40歳未満であること。

補助金額

月額の補助限度額2.5万円

※ただし、家賃の自己負担額の2分の1を上限。

- 例 家賃 6万円
- 住居手当等 3万円の場合
- 補助金額は 1.5万円



新婚世帯の家賃補助は

問

新婚世帯への家賃補助について、何組を予定しているのか、年齢制限はあるのか。

答

企画政策班長

10組程度の補助を予定しています。

「由良町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という事業計画なので、年齢制限がありません。新婚夫婦のお

2人ともが、申請日において満40歳未満であることが条件となっています。



居場所づくりは

問

「子どもの居場所づくり」について、どのようなものが、具体的内容は。

答

教育課長

小学生の学力向上を目的にしています。

公民館を利用して、子供たちに宿題や家庭学習を習慣付けていく、というものです。今年度は衣奈会館を予定しています。次年度以降も、広がっていきたいと考えています。

由良町の時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- (1) **住民交流の活性化**
 - 老人招待旅行
 - 長寿祝金
 - 社会教育の充実
 - 地域コミュニティ活動の推進
- (2) **住民の健康づくり**
 - わかやまシニアのちから活用推進事業
- (3) **災害対応力の充実**
 - 上下水道の整備及び既存施設の適切な維持、更新工事の実施
 - 防災関連施設整備事業
 - 防災監視カメラ設置事業
 - 災害救助物資等整備事業
 - 消防車庫設置更新及び移設事業
 - 自動通話録音機貸与事業
 - きのくに防犯カメラ設置事業

■ 自動通話録音機

問 自動通話録音機貸与の目的は？

答 企画政策班長 目的は、振り込め詐欺の被害を未然に防ぐ意味で、予防的なものです。

対象の方は、町内に住所を有する65歳以上の一人暮らしの方、また、同居されている方でも、平日の日中において、65歳以上の方一人となる世帯が対象となっています。貸与台数は、県の貸与分も含めて30台を予定しています。



■ 高齢者の生きがいを

問 「わかやまシニアのちから活用推進事業」とは。

答 住民福祉課長補佐 この活用推進事業は、高齢者の生きがいづくりと地域の支え合い活動の促進を図ります。高齢者の生活支援や地域のニーズに応じた活動の担い手として、活躍できるボランティアセンター的な「仕組み」を推進するための拠点を設置する「わかやまシニア活躍推進拠点設置事業」と、地域が必要とされる生活支援などの支え合い活動を有償ボランティアとして活動できる「有償ボランティア活動創出事業」を行なうことで、いつまでも元気な高齢者を増やし、社会貢献・社会参加による生きがいづくりを進めます。



■ 防災・防犯カメラ設置

問 防災カメラ、防犯カメラの設置位置は。

答 企画政策班長 防犯カメラは、紀伊由良駅前、防災カメラは入路交差点東側、由良川付近に設置する予定です。

交通安全対策

問

自転車の飛び出しによって、交通事故がおこる危険な場所があります。看板の表示、啓発事業、交通安全教室などで対策を。

答

企画政策班長

交通安全対策として、ストップマークの道路標識や表示等を設置してきました。

再度、現場周辺を確認して検討します。



町職員の懲戒処分について

問

町職員の懲戒処分の事案が発表されました。

その影響は町内外へおよび、町職員はじめ、議会、町長まで、町民の信頼を大きく損ねることになりました。誠に残念であります。

一人の心得違いをした者が出たとき、その対応策はどうであったのでしょうか。

答

町長

不祥事が発生したということは、誠に遺憾なことであります。

町民、関係者の皆さん方には多大なご迷惑をおかけしたということで、反省をしています。

当該職員は、懲戒処分、管理監督すべき立場の職員にもそれぞれ処分をしたところです。

本事業が発生したことは職員自身の信用だけに関わらず、町全体の信任にも関わってきます。

職員は、町民の信頼なくして、行政を円滑にやっていけません。職員一人一人の自覚が足りなかったと思います。

これを契機に職員には、それぞれの立場の中で自分の職責を全うすべく精進をしてもらいたい。仕事にしっかりと取り組んで、名誉を挽回してもらいたいと思っています。

多大な迷惑をおかけした関係者の皆様に改めて、お詫びを申し上げたいと思います。

質問

議員が町行政の問題などを問う「一般質問」は6名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。



山名 実 議員

災害への対応は

臨機応変に対応する

東北地方の津波から、はや5年が経ちます。そして、今回の熊本（九州地方）の大地震で甚大な被害が出ました。

また、地震の引き金となるひずみの大きい場所が四国、紀伊半島、静岡、愛知の沖合に分布しているとの研究成果が報告されています。

由良町としても様々な対策をしていますが、現場周辺の公共施設のほとんどが津波による浸水のおそれがあるので、次の4点について質問します。

問 地震・津波により被害にあう各区の人数をどの程度と想定しているか。

答 町長 約3000名の方が、津波一時避難場所へ避難することを想定しています。

問 被害にあつた人達が、避難生活を行う場所は、

答 町長 避難生活を行う指定避難場所は、町内に37カ所ありますが、被害状況をみて、旧衣奈中学校体育館などの公共施設、お寺などを利用できたらと考えています。

問 被災しなかった町内の民間施設、近隣の町との受け入れ協定は、

答 町長 町内の民間施設については、被害状況等により、利用できるかが不明確です。近隣町との受け入れ協定は、日高郡町村会で相互応援協定を締結する方向で調整中です。

問 孤立するおそれのある地区に、へ

◎その他の質問
・教育の連携と今後の学
力向上は



リコプターが離発着できるスペースを作れないか。

答 町長 ヘリコプターの離発着には、ある程度の用地面積、また、付近の状況など様々な問題があり、由良町の地勢からいって難しいのではないかと考えています。



森 三枝子 議員

一般

● 今後の町営住宅の取り組みは

○ 長寿命化等を図っていく



里第一住宅



住宅の耐震化率の向上は、防災・減災対策の推進になると考えます。

そこで、町営住宅の今後の課題について、次の3点を質問します。

問 今後の町営住宅の改修は。

答 町長 「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、改修事業を実施していきたいと考えています。

問 昭和43年に建設された「里第一住宅」には、現在、4世帯が入居されていますが、

今後の町営住宅の耐震補強も踏まえた中での対応は。

答 町長 「里第一住宅」は、法定耐用年限を超過していますので、計画において平成32年に取り壊しを予定していません。

残る4つの町営住宅については、計画に沿って定期点検を行い、予防保全的な改修を行うことで、居住性、安全性の維持、向上を図り、長期的な活用を考えています。

問 町営住宅は、今後の定住化対策、過疎対策の1つと考えられますが。

答 町長 計画に基づいて、町営住宅の長寿命化を図っていくとともに、町内の空き家等の活用を検討していきたいと考えています。



由良 守生 議員

質問

南海地震の準備は

避難訓練を毎年実施しています



避難訓練(由良小学校)

問

由良小学校の児童を門前の開山興国寺に避難させる計画になっていますが、小学校裏の紺源山、北山に避難させるようにできませんか。

答

由良小学校の児童全員が、一番安全に避難できる場所は、開山興国寺であると考えています。そのため避難訓練を毎年実施しています。

風力発電が発する低周波音による健康被害の調査を

「住民の方の相談は一切ございません」

問

私は平成23年12月議会から連続して、風力発電の被害者がいて、頭痛や目まい、耳鳴りなどで苦しんでいることを訴え続けてきました。

私は平成23年12月議会から連続して、風力発電の被害者がいて、頭痛や目まい、耳鳴りなどで苦しんでいることを訴え続けてきました。

答

いかに問題を先送りしようとも、水俣病と同じく、結論は決まっています。是非、正常な判断に基づいて、被害地域の健康調査を行ってください。

参事・総務政策課長 議会のたびに何

水俣病が認定されて60年になりますが、一度も本格的な調査が行われていません。各メディアは、行政や政治、司法は為すべきことをしなかった『不作為』が原因であると指摘しています。今も多くの人が救済を求めて裁判をしています。風力発電の低周波音公害と同じ構造です。人災です。平成27年3月付けの大学生のアンケート調査では、19%の人が被害症状



川出 純 議員

この問題を全町的に取り組んだ町があります。全国でも注目を集めている秋田県の藤里町の取り組みです。

6カ月以上、自宅にひきこもって社会参加しない状態が持続し、精神障害が、その第一の原因と

厚生労働省が、「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」(2010年)を出していますが、当事者の年齢は、10代であっても30代であっても、ひきこもりの定義は同じであり、年齢による違いはありません。

「おとなのひきこもり」について、相談されたことはありません。今後、家族等からの相談があれば、「ひきこもり地域支援センター」などを紹介することも考えています。

答

住民福祉課長

「藤里方式」の特徴は、外に連れ出すという考えではなく、あくまでも情報提供で、その中でも「求職者支援」には関心を示した方が多くおられ、その支援活動も評価されています。由良町でも先進地に学んで、この取り組みをすべきだと考えますが。

「おとなのひきこもり」の就労支援を

相談されたことはありません

問

厚生労働省が、

「藤里方式」の特徴は、

和歌山県 ひきこもり地域支援センター



情報

相談

仲間

連携



中谷 茂生 議員

質問

「小・中一貫教育体制」で由良町の教育をより充実したものに

小・中学校の連携を充実

小学校、中学校の区切りのない「義務教育学校」が設置できることとなり、全国で約130校の開校が予定されています。また、この形でなくても「小・中一貫教育」を進めている自治体は数多くあります。新しい取り組みで、意識が変わり、より良い教育に向けて協力して進んでいくことを期待します。「教育に力を入れていく町、由良町」となるために、小学校統合は別問題として、施設分離型でも本格的な小・中一貫教育を進めることについて、次の3点を質問します。

問 教育委員会での検討内容、経過はどのようなものか。

答 教育委員会は、小・中一貫教育について検討しましたが、現状では推進するのではなく、引き続き小中連携を充実させていくことを申し合わせています。

問 最近の小中連携の取り組みの具体的な内容は。

答 教育長 小中連携係部会が中心になって、目標や取り組みを共通にし、進捗状況、課題・成果などを出し合いながら交流を図っています。

また、教員や児童生徒

の交流として、外国語活動の授業、教員間の授業交流を活発にするよう計画しています。

問 小・中一貫教育体制について、検討段階から一歩進めて本格的議論をできないか。

答 教育長 検証や検討は今後も行いますが、本格的議論までは

考えていません。引き続き、小中連携教育の推進に努めていきたいと考えています。

◎その他の質問

・新たに選挙権を得る若者に主権者教育を
・人口減対策としての婚活支援は単発ではなく、持続的フォローで





中村 真一 議員

一般

ヘリポート完成後に 総合的な防災訓練の実施を

○ 防災訓練の実施を考えている



問

「大きな揺れが来たたら、高台に逃げる」、「海には絶対に近づかない」、誰もが理解していることですが、「自分は大丈夫」と思い込んでしまいがちです。

「揺れたら逃げる」という行動を常識として地域に浸透させることが大切です。

地域のコミュニティは、長い歴史の中でできたものです。それが一瞬の津波で失われます。

日頃から、自分自身、家族、地域でいざという時にどうするかを考え、様々な想定のもとで行動できるように訓練すること。そして、被害を最小限に抑えられる事前防災に取り組み、危機意識を高めていくことが、防災意識の向上につながります。

今年度も様々な防災訓練が予定されています。

これらの防災訓練と並

行して、今年度中に完成予定となっているヘリポートを活用し、消防団、地域の自主防災会などと連携を図り、町民の防災意識の向上を目的とした、総合的な防災訓練を実施する必要があります。

答

町長 災害においては、日頃から、

自分自身、家族、地域でいざという時にどうするかを考えて、様々な想定のもとで行動できるように訓練することは、非常に重要です。

町においても、浸水地域における避難訓練、職員の非常招集訓練等を予定しています。

今年度は吹井地内に防災ヘリポートを整備し、完成後は、ヘリポートを活用した防災訓練を実施したいと考えています。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会7名は6月、町内小・中学校と、こども園の訪問、町有地視察を行いました。

町内小・中学校・こども園訪問

各校の校長及び園長から現状や問題点についての説明を受け、各委員からも様々な質問を行ない、教育について深く考える機会を持ちました。



由良中学校



由良小学校



由良中学校



白崎小学校



住民福祉課から教育課の管轄となりました。

ゆらこども園



衣奈小学校

産建厚生常任委員会

町単工事の主な現場視察

町単工事

産建厚生常任委員会は、町内各地区の町単工事現場を視察しました。



中地区



横浜地区



門前地区



神谷地区

町有財産視察

町内各地にある町有地の有効活用のための視察を行ないました。



公共工事資材置場（網代地区）



ヘリポート予定地（吹井地区）



旧衣奈中学校

ALT (外国語指導助手)



Let's begin EIKAIWA

ダン に聞きました



氏名
 ダニエル・ロバート・
 カアトレジ(通称ダン)
 25歳
出身地 イングランド



A Q **趣味は**
 読書(日本語のマンガも読みます)
A Q **日本に来た理由は**
 日本語を学びたくて16歳の時から、来たいと思っていた。昨年の8月に来日。
A Q **困っていることは**
 言葉のちがひ

A Q **好きな食べ物**
 和食、特に刺身(サーモン・まぐろ)
A Q **由良町の印象は**
 景色がいい文化がある静かな町
A Q **日本とイングランドの教育のちがいは**
 教育スタイルのちがひがあるので、日本の子どもは、失敗をおそれすぎるような気がします。
A Q **好きな漢字は**
 機
 理由は
 ● 機械が好き
 ● ロボットに興味があるから



英会話サークルにて ダン先生の印象は

- とても丁寧に教えてくれます。
- 親しみが持てます。
- すてきな男性です。
- 明るくて、カッコ良くて、やさしそう。
- 毎週、ダンに会うのが楽しみです。
- 日本語をすごく勉強しているの、親近感があります。

編集後記

みなさん、暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか？

今年の夏も猛暑なので熱中症にならないように十分に気を付けてください。

あつい!といえば、私たち広報委員は、前回より紙面をA3版からA4版にかえ、皆様に見てもらえる広報誌作りにも熱く燃えております。

委員全員一生懸命頑張っておりますので、ご期待下さい。

(実)

議会広報編集委員会

- 委員長** 川出 純
副委員長 森 三枝子
 中村 真一
 中谷 茂生
 由良 守生
 山名 実
 吉田ひとみ